

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
本吉	399	4.4		ge	「火災危険性アセスメントの過程は、箇条 6 で・・・」とあるが、箇条 6 の題名と同じとしたほうがわかりやすいのではないか。	「火災危険性アセスメントプロセスは、箇条 6 で・・・」とする。	拝承いたします
本吉	471~489	6.3.2 a)~q)		ge	同程度の長さの文でも句点があるものとなないものなどがあり、また比較的長文でも句点がないものがあるなど付け方が統一されていないのではないか。	句点の付け方を統一したほうがよいのではないか。	拝承いたします
本吉	619, 621	7 a) b)		ge	疑問符があるが、句点でよいのではないか。	疑問符を句点とする。	拝承いたします
本吉	652~666	8	図 1~図 5	ge	フローチャートの図記号で JISX0121 にない記号（五角形、角丸長方形）や使い方が違う記号（丸）などがあるため X0121 に合わせたほうがよいのではないか。	JISX0121 に合わせた図記号に修正する。	この規格は、X0121 に規定する適用範囲である“情報処理のための文書”というわけではないので、IEC 規格に合わせてください。
若月	127			ge	中枢神経系の低下、又は心血管系への影響を受ける可能性がある、低酸素症を引き起こす毒性 「中枢神経系」が低下するという表現は舌足らずではないかと思えます。	中枢神経系機能の低下、又は～ あるいは 中枢神経系又は心血管系への影響を～	2022 年に審議していただいた C60695-4（用語規格）の定義に基づいているのでこのままとさせていただきます。
加藤	422	6.1	第 4 段落	ed	424 行目にも「ただし」とある。422 行目はなくても問題はないと思われるので、削除してはどうか	文頭“ただし、”を削除	拝承いたします。
加藤	491-493	6.3.2	1)~3)	ed	490 行目が本文（細別 q)の内容ではない)の場合、本文に対する細別の位置にする	489 行目と同様の位置に調整する	拝承いたします。
加藤	696	A.2.2	式(A.1)の説明	ed	式中では「Xi」の記載しかないので変数としては“値”は不要では	X_i 値： …計算される。 → X_i : …計算される <u>X</u> の値。 X_i : …計算される値。 など	F 値 (F values) に対応して X 値 (X values) というを語句を使いたい。 そのため「計算される X 値」とし、X 値の意味を定

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							義したとします。
加藤	700 701 703 720 721	A.2.2 A.3.2		ed	“X 値” の定義はどこにあるか（それともこの分野における一般的な用語？）ないのなら、X の値とした方がよいのでは（A.2.3 では、「Xi の値」としている）	X 値 → X の値	上記のとおり X 値を定義したのでこのままとします。 720 行目のタイトルを「定義された火災シナリオの窒息性物質に対する計算された X 値」にします。
加藤	705	A.2.3		ed	式 (A.2) は X となっているので、合わせる	X _i は → X は	X _i に揃えます。
加藤	714	A.3.2	式(A.3)の説明	ed	式中では「X _{CO} 」「X _{H₂CO} 」の記載しかないので変数としては“値”は不要では	X _{CO} , X _{H₂CO} の値: …計算される。 → X _{CO} , X _{H₂CO} : …計算される値。	「計算される X 値」にします。
加藤	785	B.1	第 2 段落	ed	許容表現より、可能表現なのは	発生源であってもよい → 発生源である場合がある	「発生源となる場合がある」とします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
西原	299				「・・・暴露時間が腐食損傷度への影響に関する」が素人目に表現が分かりにくいので、「・・・暴露時間が腐食損傷度へ影響する」としたらどうでしょうか？		拝承いたします
本吉	378～ 379	6.4	図 2	ge	フローチャートの図記号で JISX0121 とは記号（丸）の使い方が違うのではないかと。	JISX0121 に合わせた図記号に修正する。	この規格は、X0121 に規定する適用範囲である“情報処理のための文書”というわけではないので、IEC 規格に合わせさせてください。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
若月	100			ge	<p>全天日射が最大の値になるのは、晴天の日の正午である。</p> <p>正午というのは南中する時刻を意味しているのだらうと思います。</p> <p>地域、季節によって南中する時刻は必ずしも正午ではないかと思いますが、それほど差はないとしてわかりやすく正午としているのでしょうか？</p> <p>そうだとすると、本文のような表現だとそれが事実であると断言していて科学的ではないように思います。</p> <p>勘違いしているのかもしれませんが、ご説明いただければ幸いです。</p>		<p>天文学では、正午の時は視太陽時では太陽が南中するとき、平均太陽時では午前 12 時（お昼の 12 時）と定義している。</p> <p>従って、一般に使われている正午は平均太陽時によるものですが、視太陽時による定義であると解釈すれば、原案で問題ないのではないのでしょうか？</p> <p>気になるのであれば、解説に記載する等の検討を致します。</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	184	箇条 7	第 2 段落	ed	言葉の繋がりがおかしい	地震の繰り返し率と震度に関する統計的に研究 → 地震の繰り返し率と震度とに関して統計的に研究	JIS Z8301 の H3.2.3 の例にある A と B との間 (A と B との間とはしない) に該当するのではないかと判断し、以下とする。 「さらに、地震の繰り返し率と震度とに関して統計的に研究するのが望ましい。」と修正する。
若月	184		ge	さらに、地震の繰り返し率と震度に関する統計的に研究するのが望ましい。 「～関する」と「統計的～」の間に言葉が必要かと思えます。	たとえば 繰り返し率と震度に関する <u>相関</u> を統計的に研究する		
本吉	184	7		ge	「・・・震度に関する統計的に・・・」とあるが、「・・・震度に関して統計的に・・・」のほうがよいのではないか。	「・・・震度に関して統計的に・・・」とする。	
加藤	207		図 4	ed	図の横軸名に、記号説明にある「fr」を記載してはどうか	共振器の固有振動数 f_r (Hz)	ご指摘の通りに修正する。 横軸を「共振器の固有振動数 f_r (Hz)」と修正する。
本吉	206~207	7	図 4	ge	記号説明の中の fr が図中にない。	図中に fr を記載する (横軸の共振器の固有周波数 f_r (Hz) でしょうか)。	

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

日付: 2024/7/2	規格番号: JIS C 60721-3-3	プロジェクト:
--------------	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	243		表 B.1	ed	地震活動ゾーン 2 の PGA 欄 誤記？	0.05 を超え → 0.5 を超え	ありがとうございます。ご指摘に従って修正いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	535 537	5.4	図 1 図 2	ed	左側 下から 2 番目の◇の中の上付き添字は a) となっているが、正しいか? (注 a)は f_{max} の説明)	$\sigma_E < 2.61 \text{ dB} ? \underline{a)}$ → $\sigma_E < 2.61 \text{ dB} ?$ $\sigma_P < 2.61 \text{ dB} ? \underline{a)}$ → $\sigma_P < 2.61 \text{ dB} ?$	ありがとうございます。ご指摘に従って修正いたします。
	1104	C.5.1	第 3 段落	ed	「このことを」と「評価することを」とが繋がらない。「このこと」=「試験中の装置性能の評価すること」なのか?	評価することを認めなければ → 評価をする際に認めなければ ?	ありがとうございます。英文を意識し、現行規格の次の表現に戻します。 「このことを、試験中の装置性能の評価として用いてもよい。」
	1355	D.8	図 D.10 注記 2	ed	細分図 a)にあるのは断面位置 a、細分図 b)にあるのは断面位置 b なので、逆ではないか	a) 側面図は b) 断面図の断面位置 a から見た図。b) 断面図は a) 側面図の断面位置 b から見た図。 → a) 側面図は b) 断面図の断面位置 b から見た図。b) 断面図は a) 側面図の断面位置 a から見た図。	ありがとうございます。ご指摘に従って修正いたします。
	1753	F.3.2 F5) b)	式(F.4A)の記号説明	ed	式(F.4)の-67 の説明とどちらかに合わせる	$\frac{1}{10 \log_{10}(kT_0 B P_{\mu V})} \text{ Hz 帯域幅での雑音レベルの絶対値 } (\mu V)$ → $10 \log_{10}(kT_0 B / P_{1\mu V})$ で 1 Hz 帯域幅での雑音レベルの絶対値 (μV)	ありがとうございます。ご指摘に従って修正いたします。
	1753	F.3.2 F5) b)	式(F.4A)の記号説明	ed	式(F.4)の k の説明とどちらかに合わせる	$k : 1.380649 \times 10^{-23}$ (ボルツマン定数) → $k : \text{ボルツマン定数} = 1.380649 \times 10^{-23}$ [J/k (ジュール/ケルビン)]	ありがとうございます。ご指摘に従って修正いたします。
	1754	F.3.2 F5) b)		ed	W_{NPk} の箇所の記載を 1734 行目とどちらかにあわせてはどうか	$w_{NPk} : \text{雑音のせん(尖)頭値重み付け係数}$ 11 (dB) → $w_{NPk} : 11$ (dB)	ありがとうございます。ご指摘に従って修正いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	1838	F.3.2	F10)	ed	字抜け?	A.3.2.4 関連アルゴリズムでは → A.3.2.4 の関連アルゴリズムでは	ありがとうございます。ご指摘に従って修正いたします。
西原	189				注釈 1 は、C61000-4-20:2014 では、本文（定義）での記載ですが、今回は、注釈にしたのは、他の項目（例えば、198 行目、外部導体 注釈 2）と同じ理由でしょうか？		2014 年版及びこの標準案の（立体）対角線角の定義は、いずれも対応国際規格（それぞれ 2010 年版及び 2022 年版）と一致しています。IEC 規格の 2022 年版の用語定義は、IEC 業務指針に沿って「規格中の当該用語に置き換えることが可能な句の形式で」規定しているため、定義と補足説明の分離の進んだ規定となっています。一方で、2010 年版の用語定義は、定義及び補足説明を記載しています。当時の IEC 業務指針の規定「規格で用いる用語を理解するために必要な定義を規定する。」には反しますが、複数の記載を句点で区切って記載する様式に適合している、当時の IEC 規格（及び JIS）で散見される記載です。 198 行目の注釈 2 は、定義と補足を句の形式で規定している IEC 規格の記載を、現行の IEC 業務指針を参考に規定した JIS Z 8301 に従って、補足説明を定義から分離して、注釈 1 に移動しています。
	644				「波長に対する寸法制限は緩和してもよい」		ありがとうございます。ご指

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

日付:	規格番号: C61000-4-20	プロジェクト:
-----	--------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					C61000-4-20:2014 の記載、「波長に対して電氣的に小さいという制限は緩和してもよい」の方が分かりやすいと思います。		揃に従って修正いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。